

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-150077

(P2002-150077A)

(43)公開日 平成14年5月24日(2002.5.24)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ターミナル*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	G 0 6 F 17/60	3 1 8 Z 5 B 0 4 9
	Z E C		3 1 8 C
	3 4 2		Z E C
			3 4 2

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 14 頁)

(21)出願番号 特願2000-341738(P2000-341738)

(22)出願日 平成12年11月9日(2000.11.9)

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 猪口 裕之

神奈川県海老名市下今泉810番地 株式会
社日立製作所インターネットプラットフォーム事業部内

(74)代理人 100093492

弁理士 鈴木 市郎 (外1名)

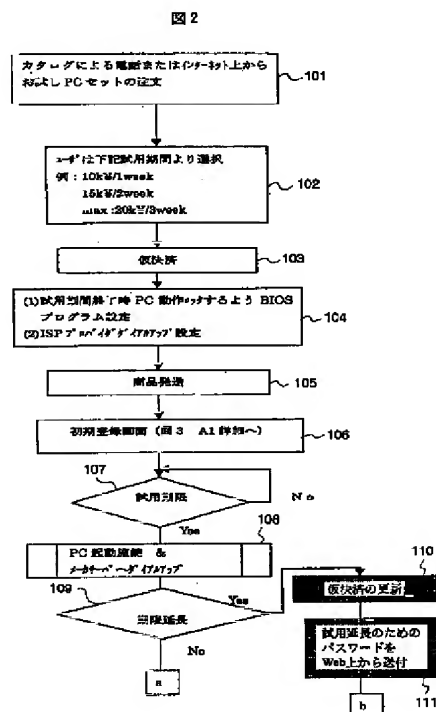
Fターム(参考) 5B049 BB11 CC05 CC08 CC36 GG02

(54)【発明の名称】 販売システム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 製品の購入意思を決定する前に試用期間を設定し、その間、ユーザに、通常に使用させて使い勝手等を確認してから購入意思を決定させる。

【解決手段】 試用期間のみ動作するようプログラムされたPCを希望消費者に期限付で提供し、その試用期間の間、インターネットショッピングをすると、そのショッピング額の何割かを消費者に還元してディスカウントする手段を設ける。試用期間が終了した時点で、ユーザに購入かそのまま試用期間の料金を決済するかを意思決定を行わせる。決済時、インターネットショッピングによるキャッシュバックの金額を差し引いて決済を行う。購入の場合、パスワードを配布しこれを入力することで試用期間のみ動作するプログラムを解除する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 製品を提供するメーカのサーバと、利用者が利用する製品とを通信ネットワークにより接続して構成される販売システムにおいて、前記メーカのサーバは、利用者に試用期間を選択させる手段と、利用者に提供する試用期間が定められてその期間だけ試用可能に設定され、ネットワークに接続する手段が準備され、利用者に提供された製品が試用期間に到達した場合、利用者に、前記製品の購入意思を決定させる手段と、利用者が製品の購入を決定した場合に、希望小売価格により決済する手段と、決済が終了後、製品を永久的に使用可能とするパスワードを利用者に配布する手段とを備えたことを特徴とする販売システム。

【請求項2】 前記メーカのサーバは、利用者が製品の未購入返品を決定した場合に、使用期間に該当する借用料金を決済金額として決済する手段をさらに備えたことを特徴とする販売システム。

【請求項3】 前記通信ネットワークに、ネットワークショッピング運営事業体のサーバが接続され、利用者が前記ネットワークショッピング運営事業体のサーバが提供しているショッピングモールでのショッピングを行った場合、ネットワークショッピング運営事業体のサーバは、購入金額に応じたディスカウントポイントをメーカのサーバに提供し、メーカのサーバは、前記決済の処理時、決済料金から前記ディスカウントポイントに相当する金額を差し引いて決済を行うことを特徴とする請求項1または2記載の販売システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報処理装置等の製品の販売システムに係り、特に、利用者が購入意思決定する前に試用期間を設け、その試用期間の経過後に利用者が製品を購入するか否かを決定することができる製品の販売システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、パーソナルコンピュータ（PC）等の情報処理装置の購入は、利用者がカタログあるいは店頭での確認によって購入の意思決定を行う必要があった。また、レンタルの場合でも、利用者は、初めからレンタル契約をして期間を決めてレンタルする必要があった。

【0003】一方、ソフトウェアの販売手法として、ソフトウェア自身に、試用期限がくるとそのソフトウェアを施錠／破壊してそのソフトウェアの試用を不可能とするという技術が、例えば、特開平8-6784号公報等に記載されて知られている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】PCのような一般消費者が利用する情報処理装置等の製品の導入において、利用者は、購入するかレンタルするしか選択肢がない。

このため、従来の販売方法は、利用者が、高額の商品である製品をカタログや店頭での確認のみで、あるいは、インターネット販売等におけるホームページの情報のみで購入するか否かあるいはレンタルとするかを決定しなければならないものである。

【0005】従って、従来技術による販売方法あるいはレンタル方法は、利用者が試用を行ってその使い勝手等を確認してから購入あるいはレンタルすることができず、購入あるいはレンタル契約後に製品に対する不満が生じたときの対応ができないという問題点を有し、利用者が高額のコストを支払わなければならない、また、レンタルを希望する場合、決められた利用期間における決まった利用料金を負担し続けなければならない。

【0006】本発明の目的は、前述した従来技術の問題点を解決し、製品の試用期間を設定して製品を利用者に提供し、試用期間の経過後に利用者がその製品を購入あるいはレンタルを行うか否かを決定することができる販売システムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明によれば前記目的は、製品を提供するメーカのサーバと、利用者が利用する製品とを通信ネットワークにより接続して構成される販売システムにおいて、前記メーカのサーバが、利用者に試用期間を選択させる手段と、利用者に提供する試用期間が定められてその期間だけ試用可能に設定され、ネットワークに接続する手段が準備され、利用者に提供された製品が試用期間に到達した場合、利用者に、前記製品の購入意思を決定させる手段と、利用者が製品の購入を決定した場合に、希望小売価格により決済する手段と、決済が終了後、製品を永久的に使用可能とするパスワードを利用者に配布する手段とを備えたことにより達成される。

【0008】また、前記目的は、前述において、メーカのサーバが、利用者が製品の未購入返品を決定した場合に、使用期間に該当する借用料金を決済金額として決済する手段をさらに備えることにより達成される。

【0009】製品は、その試用期間のみ動作するようにプログラムされて、利用者に提供される。利用者は、試用期間がきた時点で購入に切り替えることができ、さらに、試用期間の間、インターネットショッピングを利用することにより、前述の決済金額のディスカウントを受けることができる。

【0010】本発明によるシステムにおいて、製品がPCである場合、PCの動作に関わる基本ソフトの使用期限を監視するプログラムをPCに組み込んでおき、期限がくると、利用者は、その時点で、PCを購入するか返却するかを決定することができる。購入決定の場合、PCは、パスワードを入力することにより監視プログラムの監視ルーチンから永久的に抜けて通常に使用できる状態となる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明による販売システムの一実施形態を図面により詳細に説明する。なお、以下に説明する本発明の実施形態は、製品としてPCを例とし、その製品であるPCを販売するものとして説明する。

【0012】図1は本発明の一実施形態による販売システムの全体の構成を示すブロック図、図2、図3はシステム全体の処理動作を説明するフローチャート、図4は商品が利用者に到着して最初に電源を入れて使用が可能になるまでの処理動作を説明するフローチャート、図5は試用期間中から各種のサービスを提供する情報配信を行うシステムの構成を示すブロック図、図6は試用期間が終了するまでの間を含めた決済の処理動作を説明するフローチャート、図7は試用期間監視プログラムが使用するレジスタについて説明する図、図8は試用期間を監視するプログラムの処理動作を説明するフローチャート、図9～図14は処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図である。図1、図5において、1はユーザが利用するPC等の製品、2はネットワーク、3はメーカ側サーバ、4、6は記憶装置、5はサービス企業のサーバ、10は電話機、301は情報入力手段、302は制御手段、303は制御プログラムファイル、304は顧客情報ファイル、305はショッピング情報データベース(DB)、306は顧客情報カードである。

【0013】まず、図1を参照して、本発明の実施形態による販売システムの構成について説明する。

【0014】本発明の実施形態による販売システムは、図1に示すように、本発明によるサービスを受ける側のユーザが利用するPC1と、PCを販売するメーカ側のサーバ3と、本発明によるサービスに協賛するインターネット等のネットワーク上でネットワークショップを運営する企業のサーバ5とがインターネット、公衆回線等のネットワーク2に接続されて構成されている。また、メーカ及びネットワークショップのサーバ3、5には、記憶装置4、6が接続されており、ユーザは、一般の公衆回線に接続されている電話機10を有している。

【0015】次に、前述したように構成される本発明の実施形態での処理動作を図2、図3に示すフローを参照してセレクトする。

【0016】(1) まず、ユーザは、カタログあるいはインターネットホームページ等の広告物等により電話機10あるいは図示しないFAXにより、メーカに試用期間限定付のPCを注文する。この注文は、ユーザがすでに持っている他のPCからメーカ側のサーバ3に対して行ってもよい(ステップ101)。

【0017】(2) 注文の際、ユーザは、前もってメーカが定めた試用期間を選択する。ここでは、試用期間の例として、1週間、2週間、3週間より1つを選択する

ものとする。その試用期間の利用料金は、1週間が10000円、2週間が15000円、3週間が20000円であると仮定する(ステップ102)。

【0018】(3) 注文を受けたメーカは、ユーザが選択した試用期間に対する使用金額を仮決済金額として決済システムに登録する。メーカは、注文を受けた時点でユーザが選択した試用期間のみ動作し、試用期間の満了時にソフト的にPCがロックするように、PC1内のBIOSにプログラムする。さらに、メーカは、インターネットをすぐ使えるように、メーカで予め定めている、あるいは、ユーザが希望したインターネットサービスプロバイダへの接続設定及び電子メール設定をPC1に行ってその商品をユーザに発送する(ステップ103～105)。

【0019】(4) 商品である試用期間付のPC1を受け取ったユーザは、通信回線にPC1を接続してPC1を立ち上げる。後述で詳細を説明するように、PC1は、立ち上げ直後に、メーカ側のサーバ3への接続を行い、サーバから要求される情報の入力をユーザに行わせる。必要な情報の登録が終了すると、PC1は、インターネットダイヤルアップの自動的実行プログラムから開放されOSが起動し通常通り使用できるような状態になる(ステップ106)。

【0020】(5) その後、PC1は、内部で試用期間の監視を行いながら、ユーザによるPCの使用を行わせる(ステップ107)。

【0021】(6) ステップ102で設定した試用期間の経過後、最初にPC1が起動されると、試用期限監視プログラムがPC1の起動に対し施錠をかけプログラムが自動的にダイヤルアップしてメーカのサーバ3に接続し、試用期間満了を伝える(ステップ108)。

【0022】(7) メーカのサーバ3は、PC1に対して、図11に示すような画面を送信して、PC1に、ユーザに試用期間の延長を行うか否かの決定を促す画面を表示させる。なお、試用期間の延長が可能なのは1回だけであり、かつ、前回の試用期間の設定が1週間または2週間の場合であるとする。従って、ここでの表示は、ステップ102での試用期間の選択が1週間または2週間の場合にだけ行われ、「試用期間を延長」3002、「試用期間を延長しない」3002'だけが選択可能に行われる(ステップ109)。

【0023】(8) ユーザは、ここで試用期限を延長したい場合、「試用期間を延長」3002をクリックする。これを受けて、メーカのサーバ3は、図12に示すような延長期間を選択する表示画面をPC1に送信して、ユーザに延長期間を選択させる。この場合の延長期間は、当初の試用期間を最大試用期間(ここでは3週間)から引いた値が最大となる。図12に示す表示画面の例は、最初にユーザが1週間を選択した場合の画面であり、契約当初に1週間で契約したので最大3週間から

1週間を差し引いた引いた延長1週間及び延長2週間の選択肢が画面表示される。ここで1週間の試用延期をしたい場合、ユーザは、延長1週間4001を選択してクリックすればよい。延長期間が選択されて決定されると、メーカーのサーバ3は、仮決済の更新を行い、PC起動施錠解除のためのパスワードをユーザが試用しているPC1へ送信して表示させる(ステップ110、111)。

【0024】(9)ユーザは、送信されてきたパスワードをPC1に入力して試用期間を延長して、PC1の試用を続ける(ステップ112)。

【0025】(11)ステップ109で、「試用期間を延長しない」3002'が選択された場合、あるいは、期間延長後、最終的な試用期間になり再び自動ダイヤルアップされてメーカーのサーバ3に接続された場合、購入意志の決定を行わせる画面がPC1に表示される。この表示画面は、図11に示す例において、「本PC購入」3001、「返却」3003だけが選択可能に表示されたものであってよい(ステップ113、114)。

【0026】(12)ステップ114で表示された購入意志決定画面で、ユーザが「本PC購入」3001を選択すると、メーカーのサーバ3は、図13に示すような購入決済の画面情報をPC1に送って表示させる。この表示画面の例において、後述で説明するディスカウントポイントがある場合、そのポイントを金銭換算して希望小売価格よりディスカウントして決済を行う。なお、購入の場合、試用期間の開始時に購入が行われたものとして、試用期間に対する利用料金の請求は行わない(ステップ115、116)。

【0027】(13)ユーザが、図13に示す表示画面例の「次へ」の指示に従い決済画面入力を終了してサーバ3への送信を行うと、メーカーのサーバ3は、永久にPC1を使用するためのパスワードをユーザの元にあるPC1へ発行する(ステップ117)。

【0028】(14)ユーザが、サーバ3から送られてきたPCパスワードを入力画面から入力することにより、PC1は、PC1が永久に使用できるように基本ソフトの監視プログラム実行を解除して処理を終了する(ステップ118、119)。

【0029】(15)ステップ114で表示された購入意志決定画面で、ユーザが「返品」3002を選択すると、メーカーのサーバ3は、図14に示すような利用料金決済の画面情報をPC1に送って表示させる。この表示画面の例において、後述で説明するディスカウントポイントがある場合、そのポイントを金銭換算して利用料金よりディスカウントして決済を行う(ステップ120、121)。

【0030】(16)その後、ユーザは、試用期間が終了したPC1をメーカーに返却するが、この場合、メーカーは、返却されたPCをアウトレット商品として販売する

ことができる(ステップ122)。

【0031】次に、図4に示すフローを参照して、前述したステップ106での最初に電源を入れてからPCが使用可能になるまでのPC1の処理動作を説明する。

【0032】(1)PC1は、最初に電源が投入されると、図8により後述するように、PC1の内部で試用期間監視プログラムを起動して、試用期間の監視のためのカウントアップを開始させる(ステップ201、202)。

【0033】(2)次に、インターネットダイヤルアップ実行プログラムが自動起動される。この起動により、PC1は、メーカーのサーバ3への接続を行う。ダイヤルアップできなかった場合、インターネットダイヤルアップ自動的実行プログラムは、モデムを電話回線に接続することを促す図9に示す画面例を表示する(ステップ203、204)。

【0034】(3)ステップ203でのダイヤルアップが成功すると、PC1がメーカーのサーバ3に接続される。この結果、PC1には、サーバ3から個人情報の入力、個人の嗜好情報の入力を促すWeb画面が送信されてくるので、PC1はこれを表示する。Web画面として、図10に表示画面例として示すような画面が表示される。ユーザは、この画面に従って、個人情報と嗜好情報とを入力してサーバ3に送信する。これらの情報は、サーバ3内に顧客情報として格納され、図5により後述する情報配信サービスのために使用される(ステップ205)。

【0035】(4)メーカーのサーバ3は、ユーザの個人情報と嗜好情報とを登録すると、PC1のOSを起動して通常通り使用できるような状態とする。これにより、PC1は、試用期間の間、ユーザが自由に使用することが可能な状態となる(ステップ206)。

【0036】なお、前述の処理において、ステップ201の試用期間監視プログラムの起動は、ステップ203のダイヤルアップが成功した後、あるいは、ステップ205のユーザの個人情報と嗜好情報との登録の処理を行った後であってもよい。

【0037】試用期間監視プログラムは、図7に示すような3つのレジスタを使用して処理を実行する。これらのレジスタは、電源がONとなった時間を書き込みその後、時間をカウントアップしていく初期値が“0”であるレジスタRTC Reg1(601)と、試用期間を書き込む初期値が不定であるレジスタRTC Reg2(602)と、電源を投入した後の管理キーとして使用するレジスタで、初期値が“0”であるPowerキーレジスタ603とである。

【0038】次に、図8に示すフローを参照して、試用期間監視プログラムの処理動作について説明する。

【0039】(1)PC1に電源が投入されると、PC1は、この処理が開始し、まず、Powerキーレジス

タ603の内容を確認する（ステップ701、702）。

【0040】（2）商品であるPC1をユーザに発送した時点でPowerキーレジスタ603の値は、初期値“0”に設定されているので、RTC Reg1に電源投入時間を書き込み、RTC Reg2に、ユーザが図2により説明したステップ102の処理で選択した試用期間と電源投入時間を書き込んだRTC Reg1の値とを加算した値を書き込み、Powerキーレジスタの値を“1”に書き変える（ステップ703）。

【0041】（3）その後、RTC Reg1は、時間経過と共にカウントアップを続け、RTC Reg1>=RTC Reg2になるまで、試用期間の時間経過を監視する（ステップ704、705）。

【0042】（4）試用期限がくると、ステップ705で、前述の式が成立したことが知られるので、図2により説明したステップ108のメーカのサーバ3へのダイヤルアップ接続からステップ117の永久使用のパスワード発行までの処理におけるサーバ3からのパスワードの受領に伴って、ユーザが入力するパスワードの入力を待つ（ステップ706）。

【0043】（5）ステップ706の処理で、図2により説明したステップ111の試用期間延長のパスワードが入力されると、延長試用期間と現在設定されているRTC Reg2の値とを加算した値を新たなRTC Reg2の値に再設定し、ステップ704に処理が戻りRTC Reg1をカウントアップさせ、再び試用期間終了の条件RTC Reg1>=RTC Reg2になるまで監視を続ける（ステップ708）。

【0044】（6）ステップ706の処理で、図3により説明したステップ117のPCの購入のためのパスワードが入力されると、Powerキーレジスタ603の値を“2”に書き換えて、ステップ702からの処理に戻る（ステップ709）。

【0045】（7）PCの購入のためのパスワードが入力された後、PC1は、ノーマル起動の状態になり、電源が投入されたとき、ステップ702の処理で、Powerキーレジスタ603の値“2”が判定されてノーマル起動の状態になる（ステップ710）。

【0046】（8）また、試用期間中にPC1に電源が投入された場合、ステップ702の処理で、Powerキーレジスタ603の値“1”が判定されて、ステップ704、705による時間経過のカウントアップと、試用期間の満了を判定する処理とが続けられる。

【0047】なお、図8に示す処理におけるステップ704、705のカウントアップ処理と、試用期間の満了を判定する処理は、PCの電源がオフとされた状態でも動作を続けることができるように、この部分の処理に電源の供給が行われる。また、図8に示す処理は、PC1に電源の投入が行われる度に開始されるとして説明した

が、最初のダイヤルアップによりメーカのサーバ3に接続したとき、あるいは、メーカのサーバ3への個人情報等の登録の終了後に開始されてもよい。

【0048】次に、図5に示す情報配信システムについて説明する。情報配信システムは、メーカのサーバ3内に構成され、試用期間及び購入後にPCの利用者に各種の情報を配信するものである。図示配信システムは、ネットワークとのインタフェースである情報入力手段301及び情報出力手段307と、システム全体の制御を行う制御手段302と、制御手段を制御する制御プログラムを格納する制御プログラムファイル303と、インターネットショッピングを行うサービス企業から提供される各種の情報を分類して格納しているショッピング情報DB305と、ユーザからメーカのサーバ3に送られた個人情報、嗜好情報を格納する顧客情報ファイル304とにより構成される。

【0049】ショッピング情報DB305内には、協賛企業からのサービス可能なインターネットショッピング情報が、例えば、ゲーム新着情報305a、スポーツ新着情報305b、映画新着情報305c、音楽新着情報d、写真新着情報e等に分類され、これらの情報を示すコードと共に格納されている。なお、このショッピング情報DB305は、メーカのサーバに備えられる必要はなく、インターネットショッピングを行うサービス企業のサーバに分散配置されていてもよい。また、顧客情報ファイル304には、PCを使用するユーザのユーザ名、電子メールアドレス、そのユーザの嗜好情報のコード等が各ユーザごとの顧客情報カード306として示すような形式で格納されている。

【0050】前述のように構成される情報配信システムにおいて、図4によりすでに説明したステップ205の処理でユーザから送信されてきた嗜好情報は、情報入力手段301を介して情報制御手段302に到達する。情報制御手段302は、嗜好情報をコード化し顧客情報ファイル304に格納する。ここでの例として、顧客情報ファイル304には、洋画：コード101、野球：コード201として登録される。登録する際、制御手段302は、顧客情報カード306として示すように整理して登録する。

【0051】メーカのサーバは、協賛企業からのその協賛企業が提供可能なサービス（商品）のショッピング情報DB305を構築しており、この商品コードとユーザが登録した嗜好コードとがマッチする情報をショッピングDB305から抽出し、情報出力手段307を介して電子メールにより利用者に配信する。なお、情報制御手段302は、ショッピングDB305を巡回して登録一週間以内の情報のみだけを登録しておくようにショッピングDB305の更新を行う。

【0052】また、情報制御手段302は、情報入力手段301を介して協賛企業より新着情報があった場合、

マッチする嗜好情報のコードが登録されているユーザを抽出して、そのユーザの電子メールアドレスを読み取って、新着情報をその利用者に配信する。また、新着情報は、ショッピングDB305にも蓄積される。

【0053】ユーザは、前述したように電子メールにより配信されたショッピング情報により、そのサービスを提供している協賛企業のホームページにアクセスし、ショッピングを楽しむことができる。

【0054】次に、図6に示すフローを参照して、決済の処理動作を説明する。ここでの決済は、ユーザ501、メーカー502、協賛企業503が関係して行われる。

【0055】(1) ユーザ501が図2に示すフローで説明したように、お試しPCセットを注文すると、メーカー502は、試用期間に伴う金額を仮決済金額を図1のメーカーのサーバ3を通し記憶装置4に記憶して仮決済する(ステップ504、505)。

【0056】(2) その後、試用期限がきたときに、ユーザが試用期限を延長したか否かをチェックし、試用期限が延長されていた場合、借用期限延長のための決済金額を仮決済金額に加算し、新たな仮決済金額として仮決済する(ステップ506、508、505)。

【0057】(3) ユーザが協賛インターネットショップ企業503のホームページにアクセスしてインターネットショッピングを行った場合、購入金額の何割かがディスカウントポイントとしてユーザに還元するためメーカーの記憶装置にユーザ毎に積算して記憶される(ステップ507、509)。

【0058】(4) 試用期間の終了後、ユーザが試用期限付きPCを購入するか返品するか決定するので、何れであるかを判定する。購入の場合、希望小売価格からインターネットショッピングを行ったときのディスカウントポイントに相当する金額を差し引いた価格を決済金額としてユーザに請求する(ステップ510、511)。

【0059】(5) ステップ510で、ユーザが返品と決定したことが判定されると、仮決済金額からディスカウントポイントに相当する金額を差し引いた金額を決済金額としてユーザに請求する(ステップ512)。

【0060】前述した本発明の実施形態によれば、PCに試用期限がくるとPCがロックする機構を備えることにより、利用者が一定期間だけPCを利用することができるようになることができ、ユーザに、PCの購入意思を決定する前に、PCを通常に使用して最終的な購入意思を決定させることができ、さらに、その試用の期間に、ディスカウントを受ける方法まで提供することができる。

【0061】前述した本発明の実施形態は、本発明をPCの販売に適用したものと説明したが、本発明は、通信機能を備え、試用期限がきたときにその製品の機能が発揮できなくなるような他の製品の販売あるいはレン

タルにも適用することができる。

【0062】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、製品の購入意思を決定する前に試用期間を設定し、その間、ユーザに、通常に使用させて使い勝手等を確認してから購入意思を決定させることができ、さらに、その試用の間、ディスカウントを受ける方法までも提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態による販売システムの全体の構成を示すブロック図である。

【図2】システム全体の処理動作を説明するフローチャート(その1)である。

【図3】システム全体の処理動作を説明するフローチャート(その2)である。

【図4】商品が利用者に到着して最初に電源を入れて使用が可能になるまでの処理動作を説明するフローチャートである。

【図5】試用期間中から各種のサービスを提供する情報配信を行うシステムの構成を示すブロック図である。

【図6】試用期間が終了するまでの間を含めた決済の処理動作を説明するフローチャートである。

【図7】試用期間監視プログラムが使用するレジスタについて説明する図である。

【図8】試用期間を監視するプログラムの処理動作を説明するフローチャートである。

【図9】処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図(その1)である。

【図10】処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図(その2)である。

【図11】処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図(その3)である。

【図12】処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図(その4)である。

【図13】処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図(その5)である。

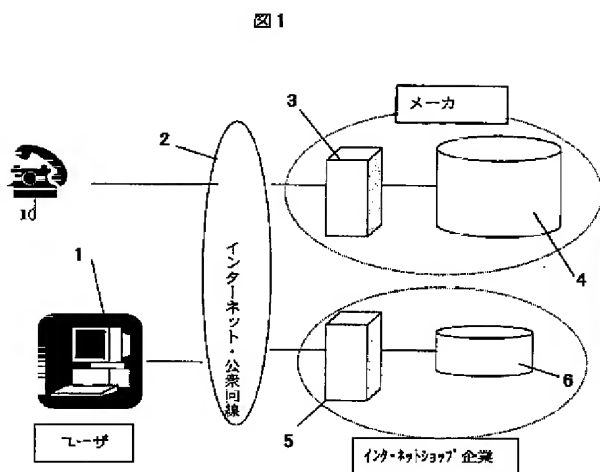
【図14】処理の途中でユーザが利用するPCに表示される表示画面の例を示す図(その6)である。

【符号の説明】

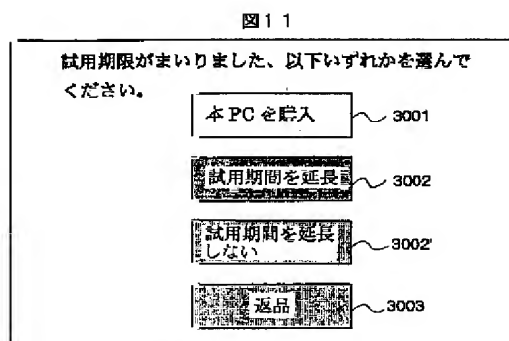
- 1 ユーザが利用するPC等の製品
- 2 ネットワーク
- 3 メーカー側サーバ
- 4、6 記憶装置
- 5 サービス企業のサーバ
- 10 電話機
- 301 情報入力手段
- 302 制御手段
- 303 制御プログラム
- 304 顧客情報ファイル
- 305 ショッピング情報DB

306 顧客情報カード

【図1】



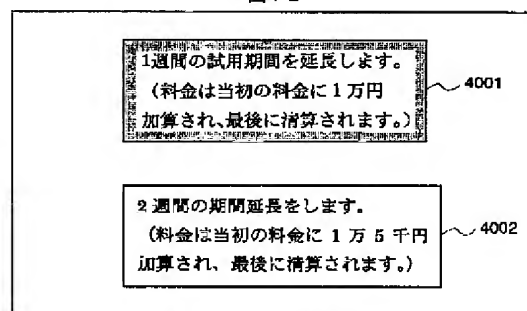
【図11】



画面3 決済決定画面

【図12】

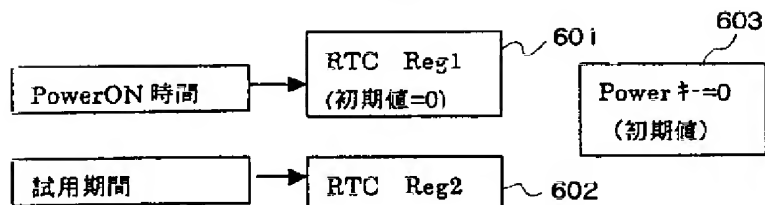
図12



画面4 試用延長画面

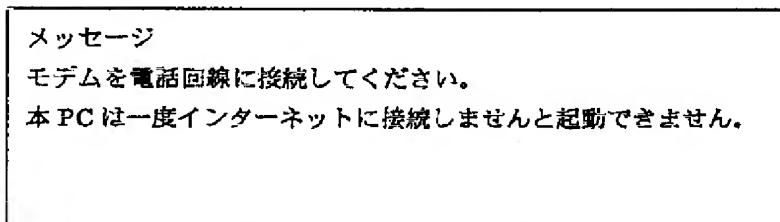
【図7】

図7



【図9】

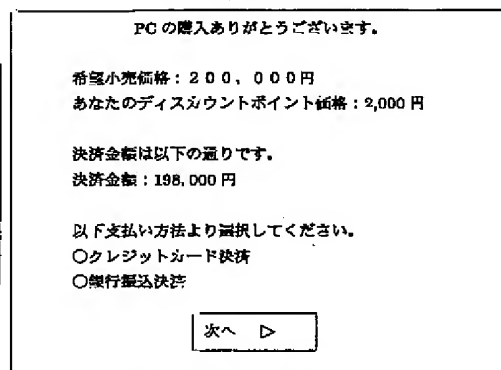
図9



画面1 電話回線に接続を促す画面表示

【図13】

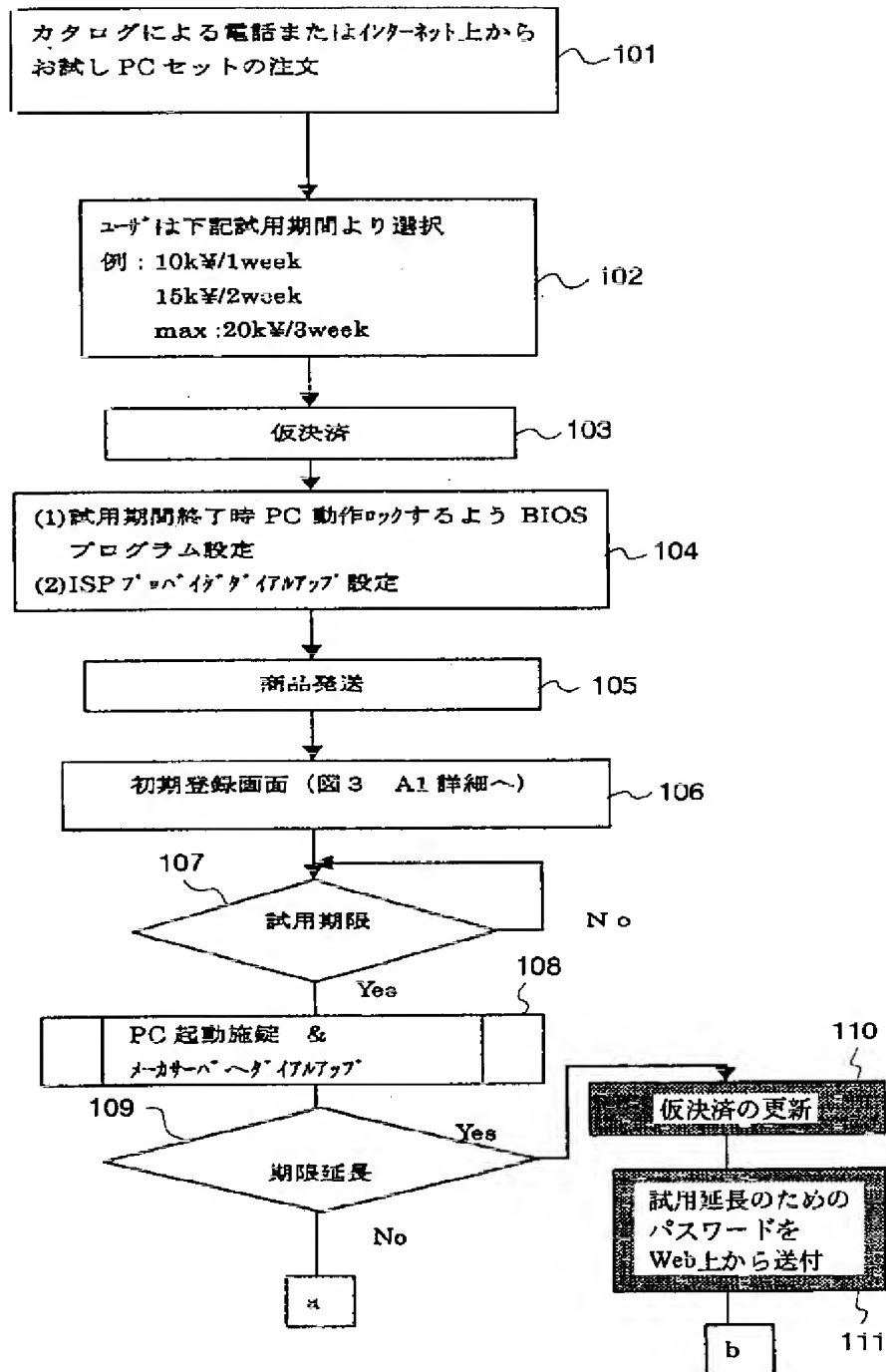
図13



画面5 購入の際の決済画面

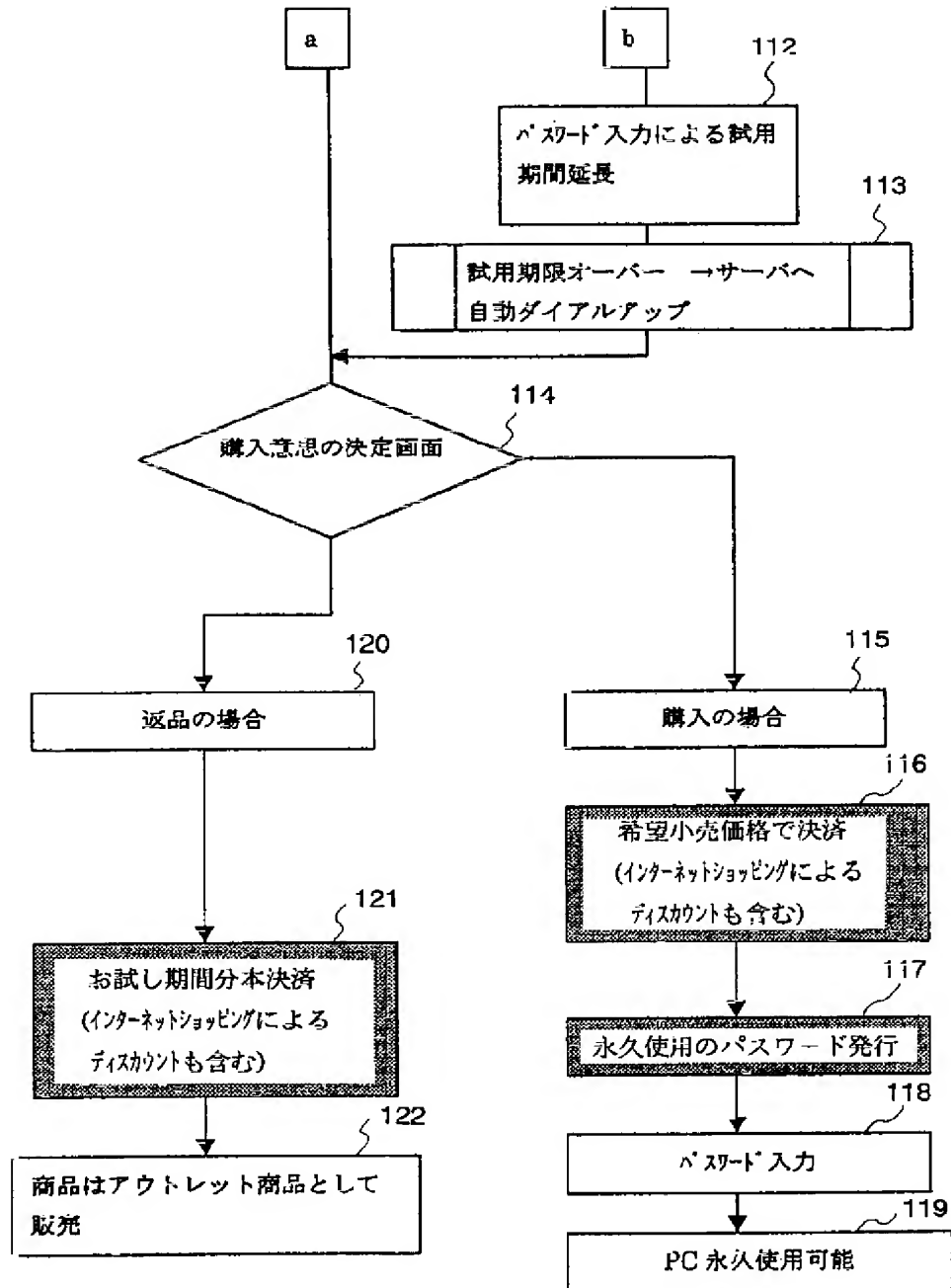
【図2】

図2



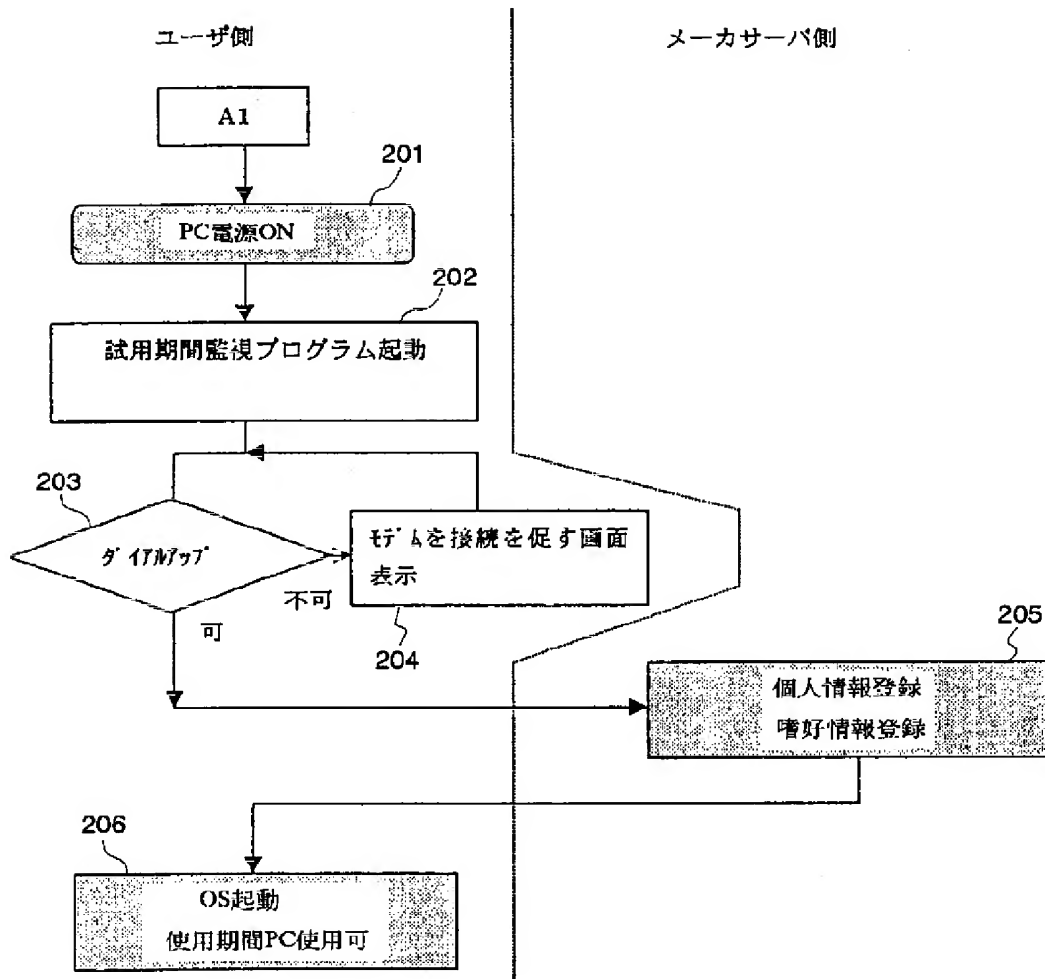
【図3】

図3



【図4】

図4



【図14】

図14

PCのご利用ありがとうございます。

あなたのご利用費用：20,000円
あなたのデイスカウントポイント価格：2,000円

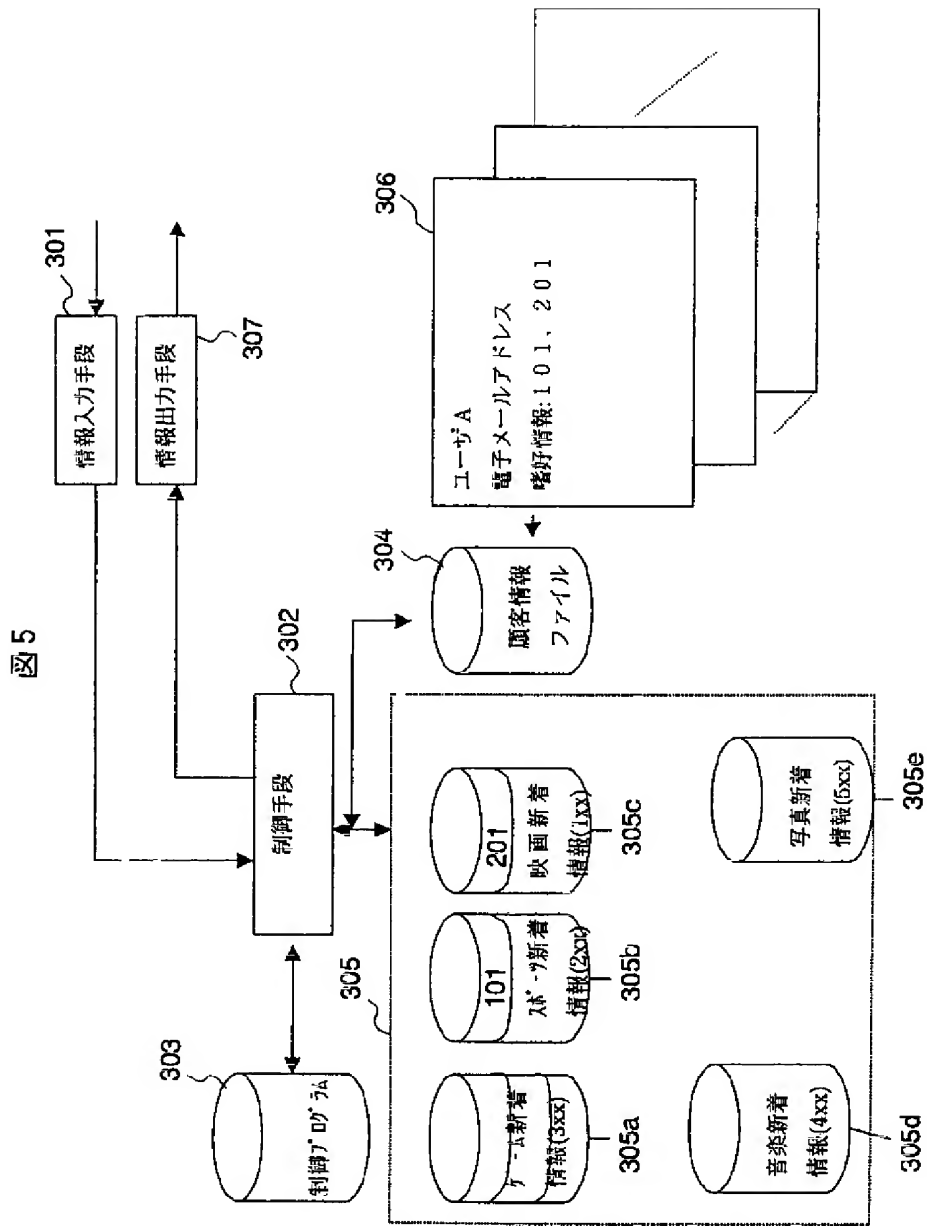
決済金額は以下の通りです。
決済金額：19,8000円

以下支払い方法より選択してください。
☐ クレジットカード決済
☐ 銀行振込決済

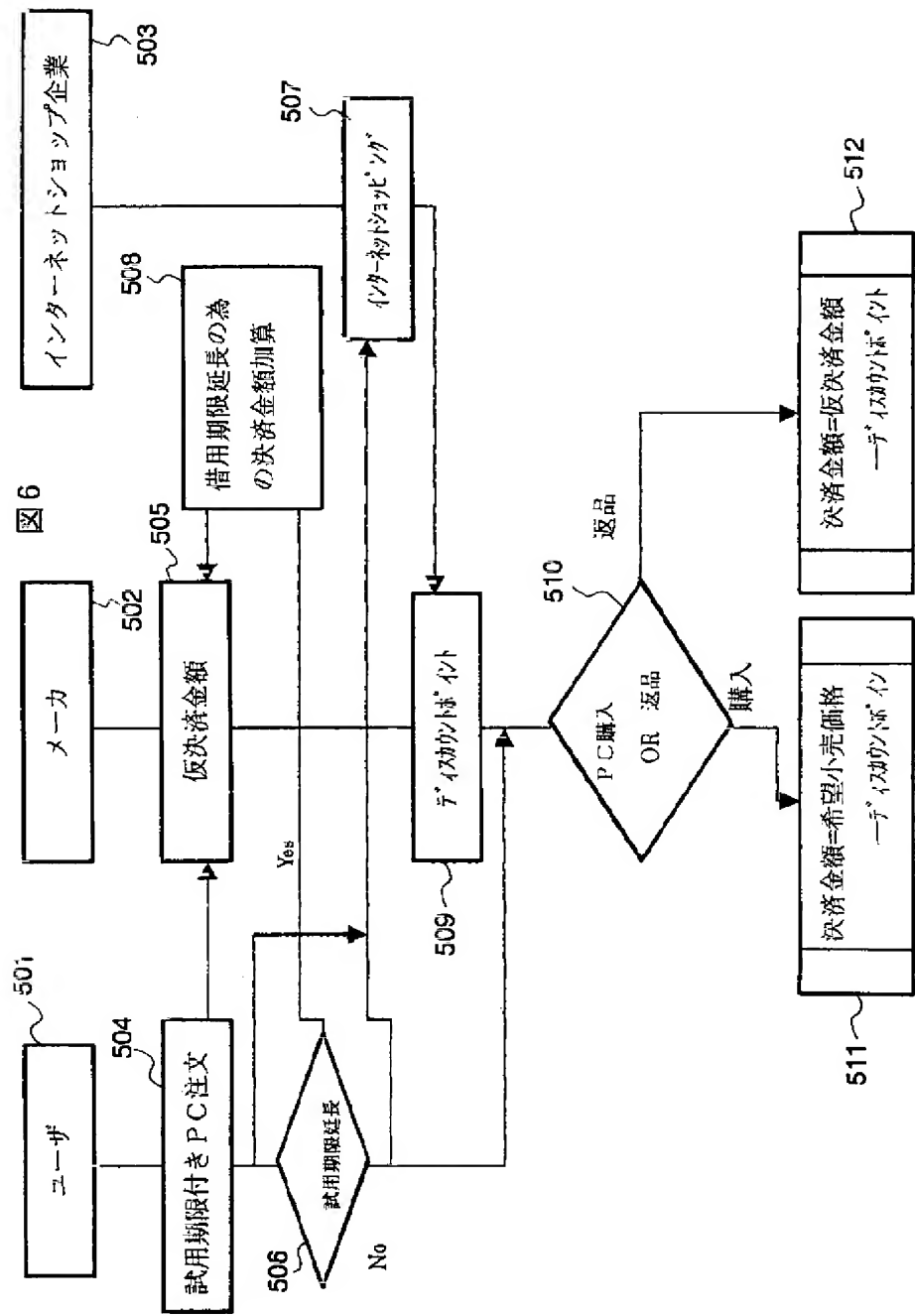
次へ ▶

画面6 返品の際の決済画面

【図5】

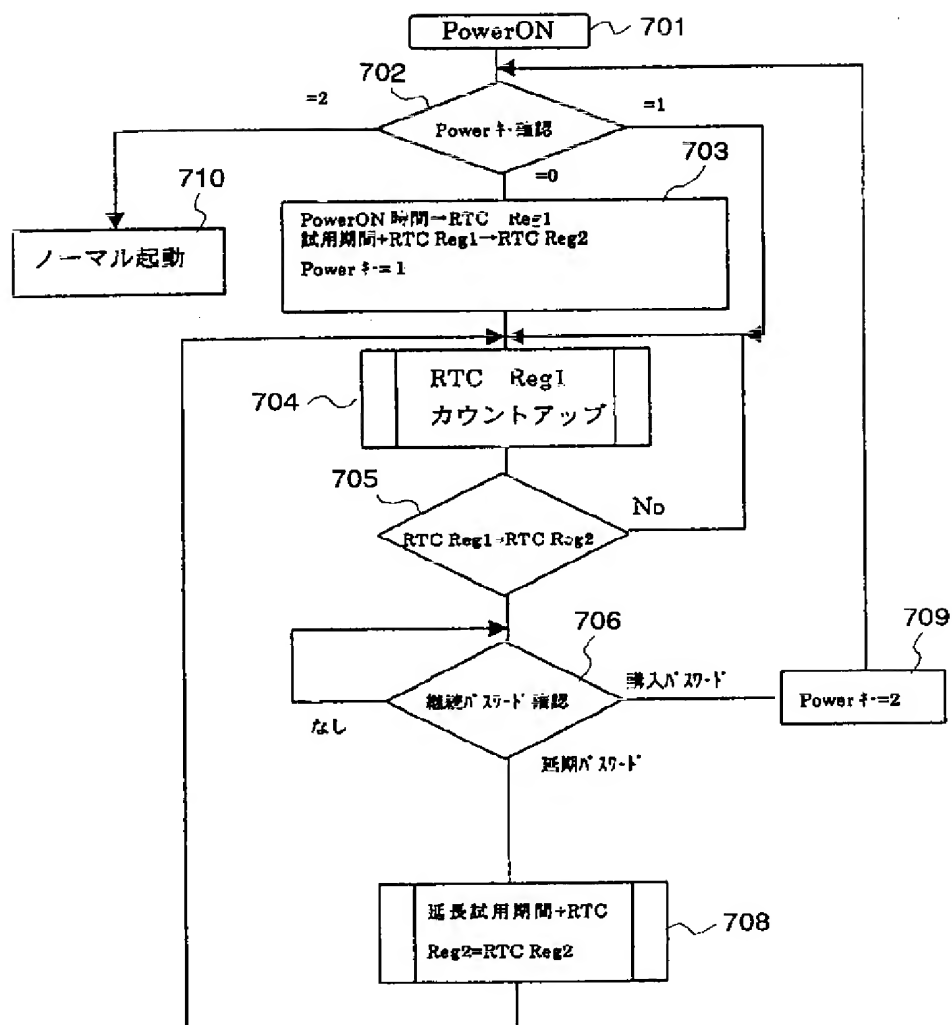


【図6】



【図8】

図8



【図10】

図10

氏名：

住所：

電話番号：

嗜好情報

下記よりあなたの好きなジャンルを選択してください。

- ・映画
 - ☐ 邦画 ☒ 洋画
- ・スポーツ
 - ☐ サッカー ☒ 野球 ☐ プロレス ☒ テニス
- ・ゲーム
 - ☐ ロールプレイン ☒ アクション ☒ シューティング
- ・音楽
 - ☒ 洋楽 ☐ 邦楽 ☐ クラシック
- ・写真
 - ☐ カメラ ☒ デジカメ

送信

画面2 嗜好情報入力画面